

令和7年8月5日

北九州市長 武内 和久 様

北九州市農業委員会
会長 大庭 喜重

農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書

我が国の農業・農村は、農業従事者の減少と高齢化が深刻化するとともに、頻発する自然災害の発生や世界的な物価高騰の影響により大変厳しい状況に置かれています。

また、昨今では、米や野菜等の価格高騰、農作物輸入の拡大など市民の農業への関心も非常に高まっています。

本市においても、人口減少、農業従事者の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は厳しく、一刻の猶予も許されない多くの課題に直面しています。

つきましては、北九州市において早急に取り組んでいただきたい施策に関する意見を、下記のとおり取りまとめました。これらの施策の推進により農業者の意欲向上、新たな担い手の参入促進につながるものと考えますので、令和8年度以降の予算編成並びに農業政策の推進にあたり、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 【重点要望】有害鳥獣等の対策について

有害鳥獣による農作物への被害が拡大しており、市においても様々な対策を実施しているところであるが、農業者や狩猟者の高齢化、担い手不足などによりその対応が困難となっていることから、昨年度に引き続き、狩猟者の確保並びに技術向上を図ること、罾や電気柵等防除施設設置に対する助成など即効性のある対策に努められたい。

2 農業用施設の整備について

用排水路、井堰及び農業用ため池については、既存施設の老朽化により排水機能や洪水調節機能が低下しているため、定期的な用水路の浚渫や補修、決壊の危険性の高いため池の改修など計画的な整備に努められたい。

3 新規就農者・後継者への助成拡充について

昨今、農業従事者の高齢化等のため離農者が増加しており、市においても後継者への助成制度を設けるなど対策を講じているが、農地の継承が進まず耕作放棄地が増加している。今後もこの傾向は続くと考えられることから、農業従事者の親族や新規就農者による農地の継承につながる助成及び研修制度の拡充に努められたい。